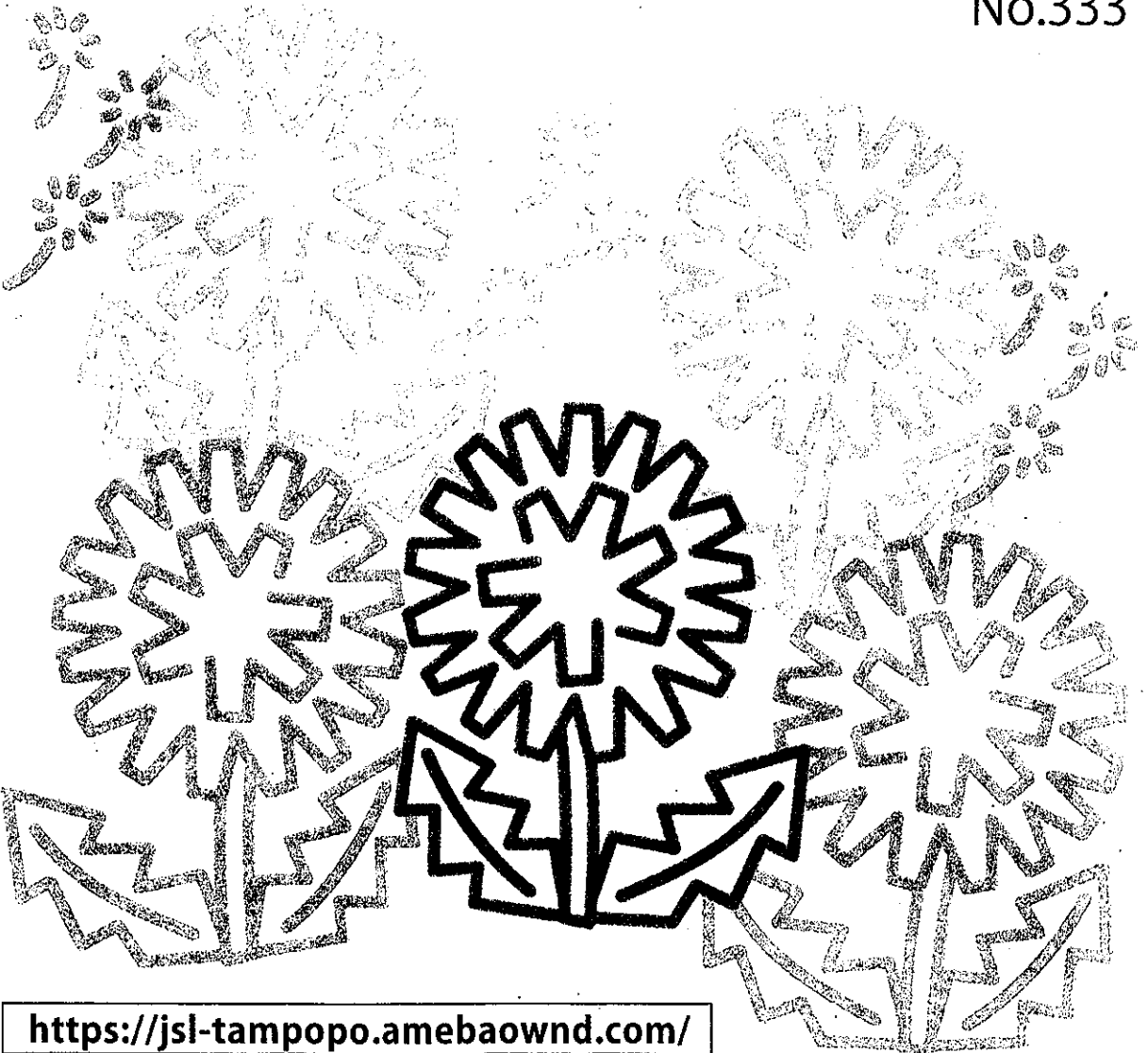


たんぽぽ

2023年度 第

4号

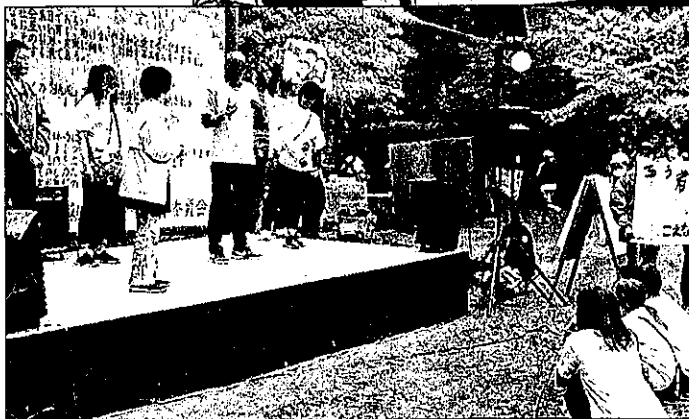
No.333



<https://jsl-tampopo.amebaownd.com/>

雑居祭り

10月8日(日)、梅ヶ丘の羽根木公園にて雑居祭りが開催されました。
 今年は57団体の参加で、昨年と同様に公園の通路より内側での開催でしたが、
 焼きそば販売などの食事制限も少し緩和されて、活気が戻って来ていました。



ステージでは、たんぽぽは手話歌
 「小さな世界」「世界に一つだけの花」
 の2曲を披露。
 手話パフォーマンスでは「ろう者って
 何だろう?～聴こえない世界～」で
 4名のろう者から生活を話してもらい
 ました。



販売では、たましろの郷とあゆむ会からの
 どくだみローションと球根を販売。
 かつての手作り班も今回復活して
 ビーズ製作販売しました。
 ろうそくのキャンドル、
 初の試みで「小さな消しゴムすくい」も
 販売。



それぞれの売上げです。

- 手作りビーズ 48,440円
- キャンドル 8,500円
- ローション 35,000円
- バザー 51,070円
- 消しゴムすくい 5,661円

通信費2,000円を除いて、合計146,671円をあゆむ会へ寄付しました。

昨年はコロナ禍のために中止だった
 スタンプラリーが復活。
 多くの子どもたちが来てくれ、
 おしゃべりしながら、動物の手話表現を
 やってもらいスタンプを押しました。
 中には「犬」を、後ろに貼ってあった
 指文字表を見ながら表してくれた
 子どもさんもいました。



鳥山ユニバーサルデザインスタンプラリー

10月28日(土)、千歳烏山区民センター。
 会場の広場では車イス体験、盲導犬のお話、
 ボッチャ体験、ノンステップ(低床)バス。
 ホールのホワイエではパネル展示。
 3階ではアイマスク体験、点字名刺づくり、
 たんぽぽの「手話でおしゃべり」、デフ
 リンピック紹介展示。



たんぽぽコーナーの最初のお客様は、手話講習会の生徒さん6名でした。子供たちと同様に動物や乗り物、指文字、あいさつ表現を学習してくれました。

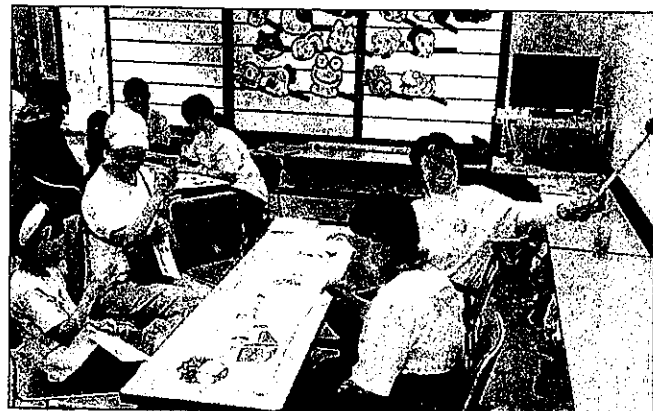
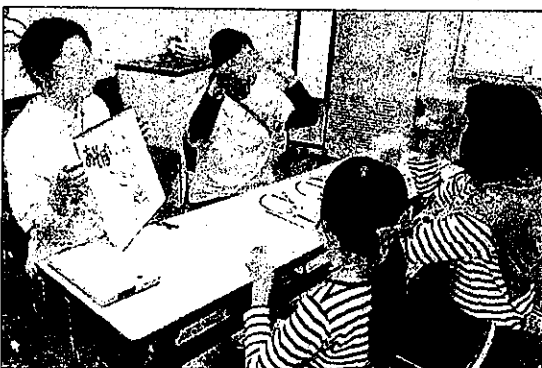
お手伝い参加者の感想です。<森定さん 一部編集>

- ・あつという間に時間が過ぎるくらい楽しかった
- ・「聞こえないとはどういうことか」を知ってもらった良い機会だったと思う
- ・指文字一覧表より実際にろう者に教えてもらった方が立体的で、微妙な間違い(指や手の角度など)をその場で直してもらえたので、メインはろう者に視線が行くようにするのが良いかな、と思った
- ・年代によって知りたい手話が違ってくるのかも(低学年は自分の名前、高学年は誕生日、高校生や大学生は「インスタ」や「LINE」「アルバイト」など学生ならではの表現)挨拶など基本的な表現も伝えつつ「学校で友達に自慢したい手話」みたいなのも教えてあげると良いと思った



来た人はろう者と話すのは多分初めてだったから、手話が伝わってなさそうな時や、質問を伝える感じがうまく進められたと思う

来年もお手伝いできたら良いなー、と思います!



23.10.22

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会
 代表 高田直樹
<http://tosaren.jp>
tosaren_info@ybb.ne.jp
 FAX: 03-3961-2445

これは一例ですが、聞こえない人にとって選挙に関する壁について解決する方法はないか?皆で意見を交換し、知恵を絞っているのが当委員会です。しかし、まだまだ解決しないと行けない課題が残っています。例えば、政見放送での手話通訳や字幕表示。100%ではありません。最近では、盲ろう者の方の情報保障についてもテーマに入ってきています。考えないといけないことがまだまだあります。

一緒に聞こえない方々にとっての選挙の壁を壊すことにチャレンジしてみませんか

委員会のメンバー
 東京都聴覚障害者連盟/東京都中途失聴・難聴者協会
 /東京都手話通訳問題研究会/全国要約筆記問題研究会東京支部/東京都手話サークル連絡協議会
 (担当:高田・堀)

福祉対策会議報告

最近の福祉対策会議

コロナ前は自立支援センター2階の狭い部屋で行われていましたが、コロナ以降はリフレッシュ氷川1階の集居室で行っています。相変わらずソーシャルディスタンスを取りつつ、マスク無しで参加しています。広々使えて気持ちいいです。

高岡前派遣センター長は、時々顔を出してくださっていましたが、今年4月に就任した森派遣センター長は、毎月出席してくださっています。通訳派遣で相談支援が必要なケースでも、報告書を出して、コーディネーター止まりで、ソーシャルワーカーにつなぐ等できていません。通訳派遣と相談支援の連携をどうするか模索中です。

9月は4年ぶりに東京都福祉局との懇談会を、地域担当者会議の場で行いました。東京都に24時間通訳派遣など要望しました。各地域のろう者からの切実な現状を聞いてもらう、いい機会になったと思います。

他は、やはりデフリンピックに関することが多いです。

(担当:高田・堀・宮崎)

東京都のろう教育を考える会報告

2022年度の東京都のろう教育を考える会の構成団体は、東京都聴覚障害者連盟、東京都手話通訳問題研究会、東京都手話サークル連絡協議会、全国要約筆記問題研究会・東京支部、ろう・難聴教育研究会、ろう教育の未来を考える会の6団体でした。

2023年度は残念ながら全要研・東京支部が退会しました。理由は東京都中途失聴・難聴者協会が加盟していないから退会することです。長年一緒に活動してきた仲間が退会することはとても残念なことです。構成団体のろう・難聴教育研究会は会長・事務局長が若返り、東京都のろう教育を考える会の大きな力になっています。

お二人は、「第33回ろう教育を考える全国討論集会inあきた(7月27日から29日)」に参加されました。主テーマは「ろう児の支援と『誰一人取り残さない』ろう教育の実現を」でした。いまその報告会も企画しています。

昨年9月1日東京都手話言語条例が制定されました。条例制定後の東京都のろう教育がどのように変わったのかを振り返り、東京都のろう教育を考える会は、来年3月3日の東京都ろう教育フォーラムに向けて準備を進めています。「ろう教育とは何か」という原点に戻って、フォーラムを開催する予定です。会として、新しく専用の金融機関口座を開設しましたので、チラシ作成や申込受付がしやすくなりました。詳細が決まりましたら、チラシの配信をしますので、ご参加よろしくお願ひします。

(担当:高田・杉石・松下)

「東京都聴覚障害者の参政権保障委員会」に参加しませんか?

国政選挙があることに、多くの皆さんにご協力いただいている、「コミュニケーションボード」の調査。聞こえない人だけでなく、いろいろな方が投票する際におきることを想定し、指差して課題を解決するための一つの方法として作成したものです。実はコミュニケーションボードは、当委員会と東京都選挙管理委員会事務局で作成しました。いまでは東京都だけでなく、様々な自治体でも活用されています。

大学サークル訪問報告

夏休み明けから文化祭シーズンまでの束の間を見計らって、いくつかの大学手話サークルの普段の活動の様子を伺ってきました。

大学サークルは学生の入替わりがはやい特性があり、コロナ禍でしばらく顔の見えない関係を続けてきましたが、ようやくコロナ禍が下火になり、複数のサークルから訪問の快諾をいただきました。

各サークルごと、基本的な単語学習から、学術的な手話の理論学習、自然とコミュニケーションがうまれるゲーム形式、ろう文化の座学、お菓子を用意した交流会など、様々な特色があります。

どこのサークルも手話を始めたばかりの勢いと興味に溢れ、純粋に手話に触れていきたい、という熱意を感じとれるような企画、活動をされていると思いました。特に今年はコロナ禍でオンライン集会在メインだった活動を、対面式に復活させていくことで、ゆとりのある取り組みをしやすいようになっているようです。

その反面、実際のろう者と交流する機会の少なさ故の多少片寄った手話を身に付けがちな傾向は変わらずありつつ、しかしまた遠目に見えてきたデフリンピックを学習会や文化祭企画に取り入れ出した様子もあり、都サ連とも協力し合えるであろう側面も多々見えました。常に押し付けになってしまわないよう細心の注意を払い、お互いに積極的に関わっていく価値をあらためて認識した、大学サークル訪問でした。

<活動訪問実績>

- ・8月26日(土)慶応義塾大学 手話サークル MiMi
- ・9月11日(月)早稲田大学 手話さあくる
- ・9月11日(月)東京大学 手話サークルしゅわっち
- ・9月20日(水)学習院大学 手話サークルのぞみ
- ・10月4日(水)法政大学 手話サークルわたがし

(担当:大木)

秋の学園祭情報

(済)日本女子大学 手話サークル Hand in Hand 「目白祭」10月14日(土)・15日(日) 10:00~17:00 手話ゲーム、手話ソング、手話講座など

(済)法政大学(多摩) 手話サークルちゅらたま 「多摩祭」 10月14日(土)10:00-17:00 10月15日(日)10:00-15:00 ちゅらカフェ(手話喫茶)など

・大妻女子大学(多摩) 手話サークルひまわり 「大妻多摩祭」10月28日(土)・29日(日) じゃがバター販売

- ・上智大学 手話サークルてのひら 「ソフィア祭」11月2日(木)・11月3日(金) 第一公演 11:30、第二公演 13:40 手話劇の発表
- ・法政大学(市ヶ谷) 手話サークルわたがし 「自主法政祭」11月2日(木)~5日(日) 11:00~17:00 (5日は15:00(まで) 手話喫茶、ろう者文化の展示、手話歌などの発表
- ・学習院大学 手話サークルのぞみ 「桜凛祭」11月3日(金・祝)~5日(日) 手話劇、手話コーラス上映、展示、講習会
- ・北里大学(相模原) 手話部 「北里祭」 11月4日(土)11:00~16:00 11月5日(日)10:00~16:00
- ・東京外国語大学 手話サークル 「外語祭」11月22日(水)~26日(日) サークル出展は23日(木)・25日(土)・26日(日)の3日間のみ 午前10時から午後5時 手話ポスターの展示、手話講座
- ・早稲田大学 手話さあくる 手話劇公演『オズの魔法使い』 11月26日(日)13:30~15:30 音声なし・字幕付き・入場無料 場所:小野記念講堂

(報告:大木)

(城南ブロック企画) 一日研修会報告

2023年9月17日(日)ブロック企画としては数年ぶりとなる一日研修会が東京海洋大学越中島キャンパスで開催されました。申込者数も121人(一般参加含む)とコロナ前ほどではありませんが多数の方の申込をいただき大盛況でした。

午前の部の講師はデフカーリングの選手兼コーチの竹川寿美子さんです。カーリングと言えば、冬季オリンピックでのみくもくタイムでも注目を集めました肝心のカーリングについてみなさんご存じでしょうか?

ストーン1個の重さが20kgあることやそのストーンはスコットランドのアイサクレイグという小さな島の花崗岩だけが公式に認められている事。また点数の数え方など知っていそうで知らないことを多数知ることができました。講演では外国人選手の写事もたくさん映し出され競技以外の交流についても説明がありましたが、外国人選手に高齢者が多いことから年をとってからもできるスポーツとして選手の勧誘も忘れていませんでした。

動画も用意していたすべてを見る事ができず、講演時間90分は短かったと思いました。

実は2025年の東京デフリンピックの前に第20回冬季デフリンピックが2024年3月2日~12日の期間トルコのアンカラで開催されます。2011年の冬季大会(開催国:スロバキア)は資金不足で開催が中止されています。みなさま2025年東京デフリンピックの前に是非来年の冬季デフリンピックの応援もよろしくお祈りします。

午後の部の講師は高島良宏さんです。高島さんのすごいところは、スポーツの経験があまりないのに、いきなり宮古島のトライアスロンの大会に参加して完走したことです。距離はスイム3km、自転車156km、ラン42.195km、総距離202.195kmです。いくらろう者の参加がOKな大会とはいえ、ちょっと考えられません。さらにすごいのはその後に参加した大会には奥さまも参加されたとのことで、臆こえないご夫婦のトライアスロン挑戦ということで注目を集め記事になったり取材旅行で海外にも行ったりしたそうです。

海外旅行の話になると、高島さんからどこの国に行ったのか会場の参加者に質問があり、参加者はそれぞれ手話で国名を表し、高島さんが読み取って「フィリピンじゃないです、アメリカでもないです、それはなんという国ですか?それなら手話表現はこうです」などのやりとりがあり、講演者と会場の参加者の間で一体感がうまれました。

最後はネタ切れか予定より早く終わってしまいましたが、とても楽しい講演でした。

反省点としては昼食で使用できるはずだったカフェテリアが使用できず、参加者のみなさまには暑さが残る中、日陰を探しながら食事をしていただいたこと本当に申し訳ありませんでした。

最後に一日研修会に参加いただいたみなさま本当にありがとうございました。

(城南ブロック)

余談ですが今回派遣センターから派遣された手話通訳さん3人の読み取り通訳が非常に素晴らしかったと思います。高島さんの手話に遅れることなく、女性通訳さんが比較的苦手とする男性が使う語彙や語尾などの表現もスムーズでしたし、です。まず調にならず口調調にうまくまとめられていました。3人ともかなりのレベルだと思います。

一般的に手話通訳は聴こえない人のためと思われがちですが、いやいや聴こえる人にも必要で、手話通訳によって会場の雰囲気も変わるんだということを改めて感じました。

あの3人の通訳さんの日本語選択のうまさ、手話通訳の勉強をされている方にも十分参考になったと思います。

派遣センターさんグッジョブ!です。

全国手話サークル連絡会懇談会報告

日時:2023年9月24日(日)19:00~21:00 <プログラム>

- ①「デフリンピックの裏話」 薬師寺道代氏(DP運営委員会 副委員長)
- ②「第57回全国ろうあ者体育大会 in ぶくい」 9/9~9/10開催 福井県から報告
- ③「デフリンピックの取り組み・ムーブメント」 報告:福島・東京
- ④ 各県情報交換

~~~~~

①デフリンピックの裏話 人には言えないような裏話ではなく薬師寺さんが同行したデフリンピックを支えた裏方さんの話でした。

②「第57回全国ろうあ者体育大会 in ぶくい」 福井県サ連山田会長より第57回全国ろうあ者体育大会 in ぶくいでの県サ連がどのような役割を果たしたのか説明がありました。

- ・競技会場に近いサークル(複数)に会場をお願いした
- ・開催の4ヶ月前に要員募集を開始したが午前中のみ、午後のみ人も登録したためかえて混乱した
- ・募集期間が終わっても人数が足りなかったので手話講習会の受講生にもお願いして全員で240名集めた
- ・大会ホームページに伝言板を作ってもらい県サ連からの情報を発信した
- ・保育士を集めるのが大変だった。しかも大会開催間際でないと本当に保育士が必要かわからなかった
- ・審判師集めも大変だった。最後は知り合いにお願いして会場に1人は確保した
- ・タイムスケジュールが決定し、要員配置も決めたがその後、都合の悪い人が出たり競技ごとに必要な要員の数が異なることが判明し最後まで調整が大変だった
- ・開会式では70人の要員が確保でき、袋詰めなどスムーズにできた
- ・陸上のスタートの光る機械を東京から借りた

③「デフリンピックの取り組み・ムーブメント」

- 福島県手連:大和田会長
- ・10月1日県内の4団体の合同研修会を開催予定 テーマ:デフリンピックからの共生社会 講師:全日本ろうあ連盟 久松氏 「みんなのデフリンピック」上映会
- ・7月に県手連でデフリンピックと国際手話の資料を作成し研修会を開催した
- ・赤い羽根共同募金と一緒に国際手話の学習会を開催している

都サ連:高田代表

- ・開催地である東京が盛り上がっていない
- ・全日ろう連や東聯連から具体的な要望がない

大サ連真鍋会長(大阪)

- ・大阪デフスポーツサポーター委員会を立ち上げ月に1回事務局を含め会議を開催し情報共有やニュースの作成を行っている
- ・2025年以降もサポートを続けられる体制を作りたい

(報告:藤井)



2023年度第4回講演会 (10月31日しゃれなあと)

# 「ろうしLGBTQ～あなたの真近に～」

かえで 氏

Tokyo Deaf LGBTQ bond・手話る楓合同会社CEO

かえで氏は信州短大卒業、つくば国際大卒業、そして日本社会事業大大学院を修了。ろうのLGBTQについて研究され、

講演や手話指導、当事者の相談等、幅広く活動されています。

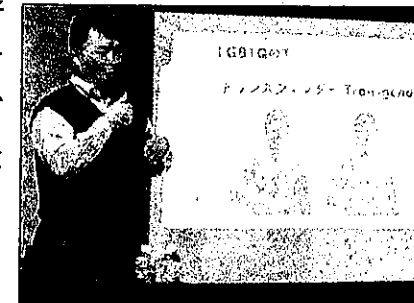
「LGBTQ」：L(レズビアン)、G(ゲイ)、B(バイセクシュアル)、T(トランスジェンダー)、Q(クィア/クエスチョニング)の「性」のあり方、考え方をわかりやすく説明されました。LGBTは生命が誕生された時から存在していたという事を知りました。昆虫などオスとメス、両方を持つものも見つけられています。そんな事から人間社会においても自然な事なのですね。

現在、日本のLGBTQであるとカミングアウト(告白)の人数は約10%だそうです。

同性婚、相続問題、職場の福利厚生などで法律上に問題点があるようですが、世田谷区のパートナーシップ制度の導入のように、今は認識が広がっているようです。

手話表現で「結婚」など男性(親指)と女性(小指)を寄せるのを、両手人差し指を合わせる「一緒」(パートナー)の表現で共有します。

カミングアウトされたら「話をそらさない、勘違いしない、他人には勝手に話さない」と、理解してあげる事。普通と同じように接する事が大事ですね。



# 無言ゲーム

11月7日の全体会は、<sup>こえなしで</sup>「伝える」ゲームを3チームに分けてやりました。

はじめは3人の「伝言ゲーム」。まず短文を口パクで次の人に伝えるのですが…もう一度、今度は手話で。まあまあ伝わりました。

次に、日常よく聞くような単語「公平」「純粹」「向上心」を身振りで表現してみる。難しいですね…。皆それぞれに表現を工夫して演じていました。3つ目はある建物を、名前ではなくその建物の特徴や出来事などを身振りで説明する。

(この場合は東京タワーやスカイツリー、マリンタワーでした)

手話ではなく他の方法で「伝える」「表現する」でコミュニケーションができるかどうか、ポイントになりました。



# かたつむり祭り

11月11日(土)西国分寺で「第8回しゅわしゅわ★かたつむり祭り」が開催されました。

コロナ中断を経て4年ぶりです。

子どもたちなかまが思い思いにゲームや手話教室を担当していました。

クラブかたつむりはろう重複障害のこどもたちが通う学童クラブです。

たましろの郷と同様に支援をよろしくお願いします。

写真協力：東京ろう重複者とあゆむ会



今後の予定 ※予定は都合により変更になることがあります

## ●12月

|    |   |           |            |
|----|---|-----------|------------|
| 5  | 火 | 例会：全体会    | 15日(金) 相談会 |
| 12 | 火 | 例会：学習     |            |
| 19 | 火 | 例会：班活動    |            |
| 26 | 火 | 例会：学習・忘年会 |            |

## ●1月

|    |   |                  |            |
|----|---|------------------|------------|
| 2  | 火 | 例会：休み            | 19日(金) 相談会 |
| 9  | 火 | 例会：全体会           |            |
| 16 | 火 | 例会：年間総括 (学習・班活動) |            |
| 23 | 火 | 例会：年間総括 (運営・行事)  |            |
| 30 | 火 | 例会：講演会 砂田武志氏     |            |

・活動時間 19:00~21:00

### 編集後記

激しい夏から落ち着く秋に…でも11月に入ったのに夏日がありましたね。すぐに冬に入ります。気温の落差が大きすぎるこの頃です。身体の順応の変化に要注意です。<YU>



## たんぽぽ・マップ

例会：毎週火曜 夜7～9時  
(見学はいつでも自由で、直接会場へ)

### 三軒茶屋区民集会所

三軒茶屋区民集会所  
太子堂複合施設3F  
世田谷区太子堂2-17-1  
東急田園線三軒茶屋駅より徒歩3分

手話サークル機関誌 たんぽぽ

発行日：2023年11月28日(火)

発行：手話サークルたんぽぽ

発行責任者：大原 和男

たんぽぽホームページ

<https://jsl-tampopo.amebaownd.com/>

講演会 問い合わせ先：

世田谷区教育委員会事務局 生涯学習課

Tel. 03-3429-4259 (Fax.03-3429-4267)

講演会以外の問い合わせは直接例会会場まで

